

	まえがき	1
	第一章 院政時代の色葉資料	17
	第一節 金光明最勝王経音義	19
	第二節 極楽願往生歌	26
	第二章 青谿書屋本『土左日記』	31
	第一節 ヤ行のエの用字問題	33
	第二節 未詳語「なくひ」	38
	第三章 国宝『和歌体十種断簡』	51
	第一節 用字法の年代観	53
	第二節 歌論内容の年代観	58
	第四章 歌集『古今和歌集』小考	79
	第一節 未詳語「それまくらことば」	81
	第二節 修学院切『古今和歌集』(伝藤原公任筆)	85
	第五章 いろは歌小考	95
	第一節 清音読み「見し」	97
	第二節 枕詞「白露の」	104
	第六章 歌論書『歌経標式』小考	115
	【付録Ⅰ】『伊呂波探玄抄』(南畝輯『三十輻』卷之三)	131
A	作者「光忠」について	133
B	頭注の作者「正恭」について	137
C	疏の作者「瓊華」について	140
D	大田南畝の書入れについて	141
E	諸本について	143

【付録2】	『高野日記』(南畝輯『百瀬川』卷之一)	147
A	『伊呂波探玄抄』の南畝書入れに見える『頓阿法師高野紀行』	149
B	『高野日記』は頓阿法師の真作か	153
卷末付録	159

第一章 院政時代の色葉資料

院政時代の原本がそのままの形で残っているいろは歌資料としては、次のふたつの資料が双璧とされている。

第一節 金光明最勝王経音義

- A 金光明最勝王経音義
- B 極楽願往生歌

このうちAについては、故築島裕博士（二〇一一年四月十一日死去）により解題の付されたフルカラー複製本が出版されている。またBについては、故中田祝夫博士（二〇一〇年四月十三日死去）によりモノクロ写真と釈文の付された論文が公表されている。これらの著作物には、国語史資料という観点から為された分析結果が述べられていて大変興味深い。私はそれらの分析結果に目を通し、その中に良名仮名遣に関わる内容のものが少なからず含まれている事実気がついた。そこでここではその点に關した考察を述べる。

まず『金光明最勝王経音義』とは、大東急記念文庫が所蔵する古い仏教典籍である。